



堀船中だより

心身ともに健康にして、国際的視野に立って社会に貢献し、自立した人を育成する。

教育目標

自ら学び 自ら考え 自ら行動できる生徒

《祝 少年の主張発表大会が3年ぶりに開催されました。素晴らしい会となりました！》

10月15日(土)に、少年の主張発表大会が3年ぶりに開催されました。校長謝辞の一部を掲載いたします。

「～前略～北区長代理坪内様、北区議会議長 名取ひであき様、北区議会副議長 大島実様、北区教育長 清正浩靖様をはじめ多くのご来賓の皆さまのご列席をたまわり、第42回の「少年の主張発表大会」を3年ぶりに開催できましたことに、心より感謝申しあげます。そして何よりも、子どもたちのためにこのような発表の機会を与えてくださいました、北区青少年昭和町地区委員会会長 議波壽男様、昭和町地区連合自治会長 松本晴光様、青少年堀船地区委員会副会長及び堀船地区町会自治会連合会長 石倉健一様をはじめ、たくさんの地域の皆さまに感謝の気持ちでいっぱいでありました。本当にありがとうございました。

滝野川第五小学校、堀船小学校の児童のみなさん、堀船中学校の生徒のみなさんの代表者の発表を聴いて、大変感動しましたし、私自身が学ぶことばかりでした。どの発表も実に素晴らしい内容でしたが、その上、落ち着きをもって堂々と話す姿からは、次代を担うみなさんのたくましさを感じました。～中略～

「少年の主張発表大会」が現在の体育館で行われるのは、今年で最後となります。来年の9月からは、建て替えステーションへ移転し、令和9年にはこの地に素晴らしい新校舎が創られることとなります。たとえ、校舎が移転しようと、近代的な新校舎になろうと、この少年の主張発表大会は永遠に続きます。地域を愛する心を持ち、どんな世の中にも対応できる子どもたちの育成がなされるよう、伝統を守っていくことをお誓い申しあげます。

本日、司会進行を務めてくれた生徒会役員のみなさん、これから素敵な演奏をしてくださる吹奏楽部のみなさん、そして、あいさつポスター表彰式をおこなっていただきました小林 PTA 会長様をはじめ PTA 役員の方々が、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、舞台発表は真剣に聴いてくれる人がいてはじめて、発表者の心を支えてくれるものだと私は思います。最後まで真剣に発表を聴いてくれた児童・生徒みなさん・保護者の皆さまにも感謝を申しあげ、謝辞といたします。」

<主張発表>

- 1 「頑張る」ことと「学ぶ」こと
堀船中学校 1年1組 高野さん
- 2 自然に「ありがとう」
堀船中学校 1年2組 高橋(海)さん
- 3 「再犯?あるいは更生か?」
滝野川第五小学校 6年1組 吉田さん
- 4 「ヘルプマークと私」
堀船小学校 6年2組 伊藤さん
- 5 害悪鉄
堀船中学校 2年1組 濱崎さん
- 6 「普通」の取扱説明書
堀船中学校 2年2組 前川さん
- 7 若者への負担
堀船中学校 3年1組 林(優)さん
- 8 努力の意味
堀船中学校 3年2組 議波 さん



あいさつポスター・標語表彰式も少年の主張発表大会の前に行われました。

表彰式は、三校連会長・本校 PTA 会長の小林様にいただきました。ありがとうございました。

<三校連 あいさつポスター・標語入賞者>

【ポスター部門】

優秀賞

1年 峯村さん
2年 鳥居さん・重永さん

優良賞

1年 中村さん・竹本さん
2年 柴田さん・前橋さん・田口さん・須田さん

【標語部門】

優秀賞

1年 甲田さん
2年 馬場さん
3年 安井さん

優良賞

1年 小川（璃）さん・陳さん
2年 前川さん・鳥居さん
3年 石井さん・安藤さん

《祝バドミントン部女子 城北オープン中学校バドミントン大会第2位》

9月25日（日）、淑徳巣鴨中学高等学校アリーナで第49回 城北オープン中学校バドミントン大会が行われました。堀船中バドミントン女子は、強豪校ひしめく中で4回戦まで見事に勝ち上がり、決勝まで進んで第2位に輝きました。本当におめでとうございます。

《祝 バドミントン部北区秋季大会女子団体優勝 男子団体準優勝 個人も優勝・準優勝ほぼ独占！おめでとうございます！》

10月9日（日）、北区バドミントン秋季大会団体戦が田端中学校体育館で行われました。

堀船中は、女子団体優勝・男子団体準優勝と見事な成績をおさめました。おめでとうございます。続いて10月16日（日）に、同秋季大会個人戦が滝野川体育館にて開催されました。

結果は、男子個人ダブルス優勝（2年王さん・渡邊さん）、男子ダブルスベスト8（2年久保秋さん・松本さん）、（2年長久保さん・山田さん）、男子シングルス準優勝（2年中野さん）、女子ダブルス優勝（2年山添さん・浦辺さん）、女子シングルス優勝（1年石川さん）、ベスト8（1年小川さん）、（1年寺嶋さん）でした。本当に素晴らしい成績です。ブロック大会も頑張ってください。



《祝 北区連合体育大会入賞者のみなさん おめでとうございます》

【男子の部】 第7位

[共通砲丸投] 菊池さん 第1位 段さん 第5位	[1・2年砲丸投] 師星さん 第3位
[1年100m] 木下さん 第7位	[1年100mH] 竹本さん 第3位
[1年1500m] 安藤さん 第6位	[2年110mH] 中谷さん 第2位
[1年4×100mR] 堀船中 第5位	[3年走高跳] 浅尾さん 第5位 小泉さん 第6位
[1、2年走高跳] 五月女さん 第6位	[1、2年走幅跳] 平野さん 第8位
[3年走幅跳] 内藤さん 第8位	

【女子の部】

[1年100m] 高橋さん 第6位 小川さん 第8位
[1年100mH] 佐藤（有）さん 第4位
[3年100m YH] 佐藤（麗）さん 第3位
[共通4×100mR] 堀船中 第8位
[1、2年走高跳] 中嶋さん 第4位
[3年走高跳] 佐野（旬）さん 第8位



《祝第75回東京都中学校支部対抗陸上選手権大会 3年生 菊池さんが砲丸投げで大健闘》

10月16日(日)、第75回東京都中学校支部対抗陸上選手権大会(陸上都大会)が江東区夢の島競技場で開催され、本校3年生菊池さんが、男子共通砲丸投に出場しました。菊池さんは、9月26日(月)に行われた北区連合体育大会において北区で見事第1位となったため、東京都の代表を決定する本大会への出場権を獲得していました。結果的に入賞には届きませんでしたでしたが、この陸上の都大会に、陸上部がない学校の選手が出場できたことが何よりもすごいことです。堀船中の代表として頑張ってくれました。本当にお疲れ様でした。これからも頑張ってください。



《祝 第4ブロック柔道新人大会 第3位入賞》

第4ブロック柔道新人大会男子73kg級で、2年小林さんが第3位という素晴らしい成績をおさめました。おめでとうございます。

《祝 北区読書感想文コンクール入賞おめでとうございます》

北区読書感想文コンクール 入賞おめでとうございます。

金賞 1年 小林(紗)さん 「親友に出会うために」 書名『少しずつの親友』

金賞 2年 荒山さん 「本質を追求せよ！」 書名『セカイを科学せよ!』

銅賞 2年 渡邊(英)さん 「ありのままの自分で良い」 書名『セカイを科学せよ!』

なお、金賞作品は、東京都読書感想文コンクールに応募されます。

北区読書感想文コンクールという大勢の応募者数の中で入賞を果たすことは、容易なことではありません。改めて、3名のみなさん、本当におめでとうございます。

《祝 堀中図書館から 本を借りた数表彰 おめでとうございます》

昨年度、堀船中図書館をよく利用し、多くの本を借り、堀船中学校の読書活動に貢献した生徒の皆さんが表彰されました。すごい読書量です。おめでとうございます。

[第1位] 2年 牟田さん(74冊) [第2位] 2年 馬さん(23冊) [第3位] 2年 境さん(21冊)

《祝 第37回北区小中学生アイデア工夫展 優秀学校賞 入賞者のみなさんおめでとうございます》

10月8日(土)~9日(日)に、第37回北区小中学生アイデア工夫展が北とぴあ地下1階展示ホールで開催されました。11名のみなさんの優秀作品が出展されました。審査の結果、銀賞・銅賞・奨励賞・努力賞と、金賞以外の賞は全て堀船中が受賞し、優秀学校賞をいただきました。

入賞者のみなさん

銀賞 「背中ピカ」 2年 重永さん

銅賞 「ハンドル専用熱さガード」 2年 境さん

奨励賞 「ソーラーパネルつき日がさ」 1年 城野さん

努力賞 「冷感クッションカバー」 2年 須田さん

入賞された4名のみなさんには、10月20日(木)17時より北とぴあ15階ペガサスホールで表彰式が行われました。本当におめでとうございます。



《感動と歓喜あふれる最高のほりふな祭でした！》

10月22日（土）に開催した「ほりふな祭」は、感動と歓喜あふれる最高の行事として、無事終了いたしました。保護者の皆さま・地域のご来賓の皆さま・卒業生のみなさん等、計230名もの方にご来場いただきまして、本当にありがとうございました。関係していただいた全ての皆さまに、感謝の気持ちでいっぱいです。



《PTA 主催の「夜会」 生徒たちも大喜びでした。ありがとうございました！》

10月22日（土）、ほりふな祭のあった日の夜の5時50分より、PTA 主催の「夜会」が開催されました。「しっぽとり」「未成年の主張」「お化け屋敷」などの出し物で、生徒たちは大喜びでした。参加人数は150人以上で、全校生徒の4分の3以上もの生徒が参加してくれました。PTA 本部役員様、各委員長様、卒対委員様、それに生徒の実行委員のみなさんのおかげで、思い出に残る楽しい「夜会」となりました。本当にありがとうございました。



慶應義塾大学医学部と北里柴三郎

慶應義塾大学に現在の医学部が設けられたのは、創設者・福沢諭吉の死から16年後の大正6(1917)年に医学科が開設されたことから始まりました。

福沢は大阪の蘭学者・緒方洪庵の適塾で長与専齋とともに学ぶなど、少年時代から医学に対して強い関心を寄せていました。そのため、明治6(1873)年にはすでに慶應義塾にイギリス医学を模範とした医学所を開設し、英語による医学教育を開始します。一方、明治政府はドイツ語による医学教育を推進しました。そのため、慶應義塾医学所で英語によるイギリス医学を学んでも、ドイツ語医学用語を用いたドイツ医学に基づく技術試験に合格する事は容易ではありませんでした。そうした理由から、慶應義塾医学所は当初の予想より生徒が集まらず、また医療機器が高価なことなども影響して、明治13(1880)年6月に経営上の理由からやむなく閉鎖したのです。

しかし、福沢の医学への情熱は潰えることなく形を変えて、気鋭の細菌学者・北里柴三郎への協力と援助という方向に向かっていきます。福沢は、ドイツから帰国して孤立していた北里のために私財を投じて伝染病研究所を創設し、日本で初めての結核専門病院・土筆ヶ岡養生園の開設のための援助も惜しみませんでした。福沢の志の高さと深い温情に強く感じ入った北里は、福沢の死後もその遺志を受け継ぎ、慶應義塾大学の医学教育の発展のために心血を注ぎます。大正6(1917)年には、要請に応じて、創立60周年記念事業として医学科の創設に尽力し、初代医学科長を務めました。大正9(1920)年には、北里が学部長に就任して、医学部が発足します。この医学部を第一歩として、福沢が熱望していた慶應義塾大学における自然科学教育は大きく花開いていきました。

このように、慶應義塾大学の発展に多大なる貢献を果たした北里でしたが、「恩師の福沢先生の御恩に報いるため」と言って、大学からの報酬を一切受け取れないようにしていました。北里は、福沢への恩義を生涯忘れることがなかったのです。

そんな北里の情熱は、今日でも大学医学部・大学病院に息づいています。信濃町メディアセンターの建物は「北里記念医学図書館」として北里の名が刻まれており、後進達の学びを支えています。



日本医師会館
【提供】学校法人北里研究所
北里柴三郎記念室

福沢の想いを背負った北里の歩みは絶えることなく、常に日本医学界の先頭を進んでいきました。大正2(1913)年に北里の提唱のもと設立された日本結核予防協会は、大正12(1923)年には財団法人となり、渋沢栄一を会頭に迎えて、北里は理事長となります。恩賜財団済生会芝病院の初代院長として就任したのは大正4(1915)年で、北里は院長を8年間務めると、辞任後も医療主管として活躍しました。また、北里の晩年の功績として欠かせないのが、日本医師会の創設と、初代会長への就任です。国内の医師会統一のため、医師達のまとめ役を囑望された北里は、大正12(1923)年に国会で医師会令の法案が成立すると、同年、日本医師会の初代会長に就任しました。現在まで続く日本医師会の礎を築いた北里は、その生涯をかけて組織の整備・運営に尽力しました。

慶應義塾大学の創立と発展は、日本の近代医学の進歩のために身を投じた、福沢と北里の信頼の証でもあるのです。



慶應義塾大学医学部 予防医学教室
【提供】学校法人北里研究所
北里柴三郎記念室

北区柴三郎略年譜

西暦	年号	年齢	事項
1853	嘉永6年	0歳	1月29日 父惟信・母貞の長男として、現在の熊本駅阿蘇郡小国町に生まれる
1871	明治4年	18歳	熊本医学校に入学、オランダ人医師マンスフェルトに師事し医学への道を志す
1874	明治7年	21歳	東京医学校（1877年、東京大学医学部と改称）に入学
1883	明治16年	30歳	4月 松尾暹と結婚・4月東京大学医学部を卒業、内務省衛生局に入局
1885	明治18年	32歳	11月 ドイツ留学を命じられる
1886	明治19年		1月 ベルリンのローベルト・コッホに師事する
1889	明治22年	36歳	破傷風菌の純粹培養に成功する
1890	明治23年	37歳	破傷風菌抗毒素（免疫体）の発見、血清療法確立
1892	明治25年	39歳	5月 ドイツから帰国・11月 内務省に復職・10月 芝公園内に私立伝染病研究所を創立
1893	明治26年	40歳	9月 わが国最初の結核専門病院土筆ヶ岡養生園を開設
1894	明治27年	41歳	2月 伝染病研究所を芝区愛宕町に移転 5月～6月ペストの原因調査のため香港に派遣され、ペスト菌を発見
1897	明治30年	44歳	志賀潔、赤痢菌を発見・伝染病予防法制定
1899	明治32年	46歳	3月 伝染病研究所が、国立となり、内務省の管轄となる
1901	明治33年	48歳	福沢諭吉逝去
1906	明治39年	53歳	4月 日本連合医学会（現、日本医学会）会頭を務める 11月 伝染病研究所を白金台町に移転
1908	明治41年	55歳	6月 恩師ローベルト・コッホ夫妻来日、日本各地を案内する
1910	明治43年	57歳	4月 秦佐八郎がサルバルサンを創製・5月 恩師ローベルト・コッホ逝去
1911	明治44年	58歳	8月 恩賜財団済生会評議員になる・9月 恩賜財団済生会医務主管に就任
1913	大正2年	60歳	日本結核予防協会を設立、理事長に就任
1914	大正3年	61歳	11月 伝染病研究所が内務省から文部省に移管され、所長を辞任 同日、土筆ヶ丘養生園の一角に私立北里研究所を創立（伝研騒動）
1915	大正4年	62歳	10月 恩賜財団済生会芝病院（現、東京都済生会中央病院）初代院長に就任 12月 北里研究所 所屋竣工 開会式を行う
1916	大正5年	63歳	8月 生誕地熊本県小国町に「北里文庫」を寄贈
1917	大正6年	64歳	4月 慶應義塾大学医学科を創設、初代科長に就任・12月 貴族院議員となる
1918	大正7年	65歳	10月 社団法人北里研究所となる・11月 社団法人大日本私立衛会会頭に就任
1923	大正12年	70歳	11月 医師会令の法案成立により日本医師会を創設、初代会長に就任
1926	大正15年	73歳	5月 妻暹逝去
1931	昭和6年	78歳	6月13日、脳溢血により逝去・青山斎場で葬儀、青山墓地に葬られる